

平成23年11月定例理事会議事録

日 時 23年11月24日(木) 午後6:00~8:00
場 所 同窓会事務局
出席者 濱田会長・生野・廣橋・志村副会長
田中(祐)・楠・小田・藤田・朴・安田・板金・溝端・西尾・藤本
以上14名

司 会 志村副会長

会長あいさつ

前回議事録確認

報告事項

- 1 樋上 忍当会監事(堺市医師会長)秋の叙勲受賞(旭日双光章) - 濱田会長
- 2 卒前医学教育診療所見学実施・学生評(資料提出) ----- 事務局

良いお医者さんにとって必要だと思う順に番号をつけなさい

態度(心意気、心情)が最も高かった。

医師の仕事について、プログラムを体験する前後で印象に変化がありましたか。

印象に変化ありが92人中80人と高かった。

「印象に変化あり」その具体的理由

患者さんとの接し方、治療の進め方

患者さんとコミュニケーションをとることが大切で、治療以上に時間をとられていたから。 ほか色々な意見が示された。

医師の仕事について その他

患者さんとの距離が近く、看護師さんの仕事とイメージしていたような仕事も先生ばしておられたから。 ほか色々な意見が示された。

その他 地域との関係をもつ診療所において、医師と患者さんの深い信頼関係を見ることができたから。 ほか色々な意見が示された。

「印象に変化なし」の具体的理由

医師という仕事は非常にやりがいのある、すばらしい職業であるということを再認識したから ほか色々な意見あり。

指導医の評価

大変よいが圧倒的に高かった。

プログラムに対する感想

臨床の現場を直接肌で感じる事ができたので、良かった。 色々な感想あり。

全体的に今回の見学実習につて、学生の評価は高かった。

- 3 々 反省会開催報告(10月27日) ----- 板金理事

出席者から学生の評価について、問題があることの見解が示され、この研修を今後どの様な方向で運営したらよいか研修協力者にアンケート調査を実施し

たいとの見解が板金理事から示された。

4 第24回卒後研修会に関する学術委員会開催 (10月12日) --小田理事

日時 平成24年2月11日(祝) 午後13時20分から

「奥の深いリウマチ・膠原病」

～君は知らずに危ない橋を渡っている～

1) 講演 関節炎の診法 (診断から治療まで)

本学医学研究科 骨・リウマチ内科講師 後藤 仁志

2) 講演 膠原病の Curbside Consult

第1部:沈黙の疾患「抗リン脂質抗体症候群なんか診たことない」

第2部:総合内科医が診る疾患「リウマチ性多発筋肉痛症なんか知らない」

本学医学研究科 膠原病内科講師 根来 伸夫

特別講演 演題 脳神経外科治療の最新情報と展望

— ここまでできるマイクロサージェリー —

本学医学研究科 脳神経外科学教授 大畑 建治

5 ホームカミングデー開催 (11月3日) ----- 事務局

杉本の学舎で開催されたが、盛会であった。医学部からの出席者は少数であった。

6 学友会関係報告 ----- 楠理事

統一同窓会の件については、学友会と同窓会の協議が十分でない

学友会幹事会での医学部同窓会からの意見として、

学友会幹事会では、学友会の今後のあり方を協議すべきであって、統一

同窓会につて協議を行う場ではない、との見解が示された。一同同意。

8 仁濤95号発行計画 (資料提出) ----- 事務局

協議事項

1 平成24年度評議員会・総会開催日程について ----- 事務局

平成24年6月23日(土)開催を決定